

401	<p>荻窪駅開発が全く進んでおらず、方針が曖昧で計画に落とせるレベルでは無い。これではいつまで経っても進まない。南北往来をバリアフリー化し、人流や物流をスムーズにしてもらいたい。ここ10年見ても何一つ具体的な進展が見られない。絵に描いた餅が続いている。</p>
402	<p>荻窪中心の中央線沿線のみ注力する事がよく分かった。方南地域には区長選挙の時も来なかったし、捨て置かれる事がよく分かった。大型集合住宅が建設され、小学校の教室が増設されるほど住民が増えても、中央線沿線ほど収入を生み出せず、文化もないから、無視されることが分かった。中央線沿線だけで文化祭をしたいことがよく分かった。緑を増やしてカラスがどれだけうるさいか考えていないことがよく分かった。次の選挙には協力しない。</p>
403	<p>骨子案に子ども、次世代向け対策の記載がないのはなぜでしょうか？高井戸エリアで「中央自動車道高井戸インターチェンジのオンランプ※については、開設に向けて事業者等の取組を支援します」とありますが、小中学校の通学路と重なる場所での自動車呼び込む政策には疑問を感じています。これは本当に必要な政策でしょうか？</p>
404	<p>ぼんやりとした表現で結局は道路拡張や駅前再開発をしようとしているところが余計に住民達からの信用をなくしていると思う。</p>
405	<p>杉並の基本姿勢の①から⑤は実際にしていない事の羅列であり、概ね10年を目指す杉並のまちづくりに期待したいのですが、現行は理想に対し逆行しているように思える。脱炭素を進めるなら、もっと積極的な政策、自然破壊して道路や駅前開発するのを止めるべき。今、勇断しないと、次世代に、誰もが暮らしやすいみどり豊かな杉並区は、来ない。私たちの責任です。</p>
406	<p>1. 阿佐谷駅北東の開発、高円寺の小中学校の統廃合などの大型開発、幹線道路の拡張ではなく、生活道路の整備や公園の整備に力を入れてほしい。 2. 児童館、ゆうゆう館の統廃合はやめて、公立施設の整備、利用者の要求にそって使いやすくしてほしい。 3. 自転車道路の整備、駐輪場の整備に期待している。区立施設の駐輪場の整備をしてほしい。 4. 街の景観で一番気になるのは商業広告。店舗から遠く離れた場所にまで大型の広告を出すとか、バスの車体に派手な広告を出すことを規制できないか。 5. 荻窪駅周辺の再開発はやめてほしい。荻窪駅に大型ショッピングモールとか複合施設はいらない</p>
407	<p>高円寺の補助221号線について、早急な事業の開始をお願いします。現在の道幅5mでは、信号無視をする人や自転車が絶えず、環七とも交わっているので非常に危ないです。私は何度も接触しそうになりました。道幅を拡張し、歩道部と車道部を明確に分けるとで事故の防止に繋がるということも明記すべきです。</p>

408	<p>昭和 22 年・昭和 41 年と 76 年前に計画された補助 132 号線の計画に固執する必要があるのかについて、冷静な視点で再検討をお願いしたいです。そのために、岸本さんが口調に選ばれたものと理解しています。防災機能の強化という側面は一定程度理解はできるものの、荻窪でもなく吉祥寺でもない、西荻窪という街の魅力を形成しているものは駅周辺の固有の商店の魅力があってこそのものであります。防災機能の強化等、必要最低限の機能を整備することと商店の魅力を維持していくことは共存できることと思います。景観法案とは歴史的な建造物等に限定することなく、自治体として住民としての責務を果たすために制定されていると考えます。特に、これ以上の大型施設・高いビル等は不要であり、駅周辺の建造物に高さ制限を設定する等、令和ならではの対応ができるものと思います。これらはゼロカーボンシティを目指す杉並区としても検討すべき事項であると考えます。大きな声を上げる人は極一部であり、大多数の区民が西荻窪の現在の魅力を損なって欲しくないと願っています。その結果が岸本さんが選ばれた理由でもあると思います。一度進み始めた計画を中止することは関係者も多く非常に難易度が高いことも理解しますが、「対話」を大切にしまちづくりを進めたいと願っておられるのであれば、いまいちど、補助 132 号線について再考をお願い致します。どうしても進めるとしても街や商店の魅力を損なうことのないものにして下さい。尚、本件とは直接関係ありませんが、当該システムは使い勝手が悪く意見を広く募集することに適していません。これでは、意見を言いたくても断念する人がほとんどだと思います。どなたかスタッフの方で実際に利用してみたことがあるでしょうか？広く住民の声を聴きたいのであれば、もう少し意見を言いやすい環境も整備して頂ければと思います。</p>
409	<p>解説は綺麗な言葉で説明しているが、この解説では具体的ではない。今問題となっている地域商業の衰退化と大規模商業施設への規制など街を支える取り組みより開発推進に重きが置かれている。地域の活性化をどう図るのかなどの計画が見えない。地域の活性化がなければ街づくりは意味がない。自転車のナビラインなどは「おざなり」に過ぎない、結局は歩道を通行することになっている事は現実をよく見ればわかるはずだ。あくまで、車両優先が基本になっているに過ぎない。防災拠点ともなる公園などの広域防災拠点をどう増やすのかの視点が見えない。下井草、本天沼地域には中規模、大規模公園が存在していないなど施策が偏っている。みどりの創出を謳っているが、妙正寺川の樹木の保全と植栽などを見ていると伐採が先行し「補植」は言い訳程度でしか実施されていない。本当に緑を創出することを目標にしているとはとても思えない。街と同じように妙正寺川の「枝垂れ桜」は衰退していて保護と植栽は放棄されている。西荻の 132 号線は、「東京ガス」が緊急車両を通すために拡幅すると言われてきたが、当の東京ガスが撤退し大</p>

		規模スーパー「ライフ」に変わった。今や拡幅の筋が通らなくもなった。十分に時間をとり話し合いを進めてほしいと思う。
410		①私はいまの街も大好きですが、杉並区が考えている取組みも防災面、治安面、安全面からとても納得できるものだったし、職員の方も何度も説明会で丁寧にお話ししてくれていました。ぜひ自信をもって、これまでのまちづくりにゼロカーボンの視点を加えながら取組を進めていってほしい。②区広報を見て区民と対話するブレストがあるとのことだったが、反対運動してる方々は怖い。デモ活動を見ても反対派の人たちは、賛成派に対して非常に怖い。大変失礼ですが、あまり一緒の場で建設的なブレストできるような方々ではないと感じました、ごめんなさい。（西荻野商店街の人たちだって、数年前に東京都の補助金を不正受給していたような方々ですよ。区長は知っているのでしょうか。）コンプライアンスや、法律の問題や行政ができることとできないことの違いも理解していない方々が大きな声で職員に文句を言うだけの場にならないか心配ですし、もし区長がこのコメントをご覧になっているのであれば、声を上げない大多数（サイレントマジョリティー）をもっと大切にその責務を果たしていただきたいと心から思います。もちろんマイノリティを大切にすることも大切だと思います（私も現にマイノリティの方を支援する仕事をしています。）が、この街を作っているのはマイノリティの方々だけではないのです。区長とのブレストにも私のような小心者な賛成派でも参加しやすい仕組みづくりをしない限り、建設的なブレストにはなりません。ブレストは参加する際の議論の安全性が担保されて初めて意味があります。
411		西荻窪地区は、道路拡幅は全く必要がない。今の景観と商店街を守って欲しい。
412		西荻窪の道路拡張についての説明が不十分。西荻窪の住人で、車を運転することもあるが道路拡張の必然性を感じない。強いて言うのなら、南口の交差点から神明通りに入るところが狭く、危険性があると思う。北口の道路拡張は、商店の連なる通りを破壊するものであると認識している。説明が不十分な今は、メリットより、デメリットの方が大きいと感じている。岸本聡子区長は再開発反対を掲げていたはずだが、区長が交代しても道路拡張ありきで進めようとする骨子案に納得できない。沿線の住人だけでなく、ひろく説明会を開くべきである。
413		よく練られた骨子案だと思います。記載された取組に賛同します。133号線の早期開通をお願いします。
414		自動車中心の街路整備から歩行者中心にして欲しい。道路を広げて街を分断して欲しくない。タワーマンション等は杉並には必要ない。今も五日市街道

		沿いでは歩道が狭すぎて歩行者がすれ違えないところが多いです、これを改善して欲しい。すぎ丸はもっと拡張してもいいと思う。
415		将来都市像「みどり豊かな 住まいのみやこ」に賛同します。杉並在住歴5年ですが、首都圏から近いにも関わらず、美しい緑地帯を有し、子どもたちの遊び場、野鳥観察、ランニング、花見等住民の憩いの場として機能していると思います。貴重な自然資源を持つ地域として、水源や緑地帯の管理、緑を活かした土地利用を是非進めてほしいです。すべての人が暮らしやすい環境整備としてのユニバーサルデザイン、ゼロカーボンシティ構想も積極的に進めて頂きたいです。一方で、道路開発には疑問があります。防災目的での補助線整備や駅周辺の再開発は、生活を営む住人の立ち退きとセットです。これまでも道路拡張に反対する幟を住宅街で沢山見かけました。そこに住む人々が親しんだ自宅や店を手放してまで、効果の得られる施策なのでしょうか。十分な説明もないうえ、半世紀以上前に浮上して凍結されていた計画とも聞きます。街のあるべき姿を把握すべく、住人との対話、実態把握を求めます。
416		成田東の133号線を一日でも早く開通してほしい。防災の面から大きな道路がないと不安。また133号線はカフェとか、商業施設が並び、善福寺川公園までお散歩出来るような道にしてほしい。また南阿佐ヶ谷駅前に広場を作り、自転車置場を作って欲しい。
417		西荻窪の松庵に住んでいます。柳小路を始め、駅周辺の街並に引かれて引っ越してきました。西荻窪が大好きです。駅前にタワーマンションが建つような事は絶対に止めてください。西荻窪を変えないでください。西荻窪の家賃が高騰してしまうのではないかと危惧しています。実際に住んでいる人たちが望んでいない事はしないでください。
418		道路計画が基本的に従前のままで、新たに取り入れた概念が十分に反映されていないように思われます。
419		西荻の道路拡張工事は容認出来ません。西荻に永年住む者として、道路沿いに住む者として、10年以上の工事や景観を壊す開発には断固反対です。是非考え直して頂き、西荻の街並みを壊さないでほしいと思います。
420		脱炭素の視点が各分野に入っていて、よくまとまっていると思います。都市計画道路は、反対の意見があるとは思いますが、着実に進めていただきたいです。自転車が乗りやすいまちを目指すのならば、自転車レーンなどで歩行者と自転車を分離した広い道路が必要です。
421		素晴らしい取り組みだと思います！
422		都市計画道路補助132号線の整備について、「事業を進めるにあたっては」という文言から分かる様に、計画を進める前提となっています。区長が代わ

		りましたが道路計画についてはなにも変わっていません。また、住民との対話、合意形成も努力義務となっており不甲斐ない内容でした。あくまでも都市計画道路を推進する区の姿勢は変えるべきです。
423		人見街道が狭すぎる為、危険。整備してほしい。1.車、2.自転車、3.歩行者、しっかりと安全に通れるように。電柱も減らして欲しい。車がスピード出し過ぎるのを制御してほしい。
424		追加すべき事項。1.住環境整備—動物の不適切管理（放飼い、地域猫、餌やり等）の適正化による生活環境・公衆衛生面の改善。2.防災対策—東京都と協調し、休止中の都杉並浄水所を給水所に改修し、災害時給水拠点に改善。
425		まずは岸本聡子杉並区長「情報公開度、透明度ナンバーワン目指す」との宣言は素晴らしいことと思います。また、こういった意見集約がおこなわれていること、こういった意見票の存在に気がつくようにして下さったことに感謝します。 --- ●全体について 多心型まちづくりの推進は良いがインフラ整備に特化しすぎて、各々の街の連携を改善する視点や移動手段への視点が無いと感じました。 --- 各々の街の連携については、杉並区は縦の移動（南北移動）が困難でせっかく京王線、井の頭線、JR、西武新宿線と鉄道が横切っているのに行き来ができません。すぎ丸ができて大きく改善がなされましたが、路線が少なく今でも大回りを強いられる住民は多いと思われます。また、各々の商圈が分断されたままでは経済発展も阻害していることと思います。もう少し縦のトラフィックに目を向けてよいと思いました。実際、廃住宅のリノベーションで出店するなど、東京下町の住宅街などでは鉄道駅もないのに活性化しているところも多くみうけられます。 --- 移動手段については、自転車に着目するのであればレンタルサイクルにもっと力を入れるべきかと思います。他区では成功しているのに杉並区ではほとんど東京自転車シェアリング ポートが認知されていません。これでは自転車台数が増え不法駐輪などに悩まされるばかりです。また、現在の東京の道路事情ではそもそもの道路幅が狭く自転車運用に無理があります。抜本的な改善が見込めない中でスクーター（含むEV）の活用も区レベルではもっと真摯に取り組むべきと思います。日本にはの世界に冠たるオートバイメーカーが数社あるのですから、協力関係も得られると思います。 --- つたないながらも具体策としては ・東京自転車シェアリング ポートを他区並に増やすべき 東京自転車シェアリング ポートマップ/Tokyo Bike Share Station Map を見ればわかるように杉並区は他区に比べてあまりに少ない状態です。 ・スクーター駐車場の増設、将来はEV対応（電動スクーターの給電スペース）への改変 自動車移動を減らし、区内のトラフィックの活性化にはスクーターの利便性をあげることが有効と考えます。また、ゼロカーボンに近づく上

		<p>でも有効です。欧州にあるように歩道を少しへこませたバイク用駐車スペースや（高円寺のように）鉄道高架下の有効活用であれば、用地取得に手間がかからない方法もあると考えます。 ・更に電動スクーター、電動バイクの購入奨励 上記の設備設置に加え、EV化の区民への支援をできないものでしょうか。杉並区の道路は狭いので自動車台数を減らすことも重要と考えます。 --- ●みどりと水のまちづくり方針 せっかく整備しても、ほとんどの公園は禁止事項が多く入りにくいです。ペット禁止、ボール遊び禁止では、公園の利用は増えないと思います。このあたりは（区が責任を負うのではなく）利用者の自己責任を明確にして自由度を増すような運用にそろそろ変えてゆくべきかと思います。 --- ●情報公開度、透明度ナンバーワン目指す ・基本方針や選挙公約などを具体化する際の住民との協議が全く見えてきません。浜田山駅の南口の件は住民であるのに全く知りませんでした。問題となっている永福南小学校跡地のビーチバレーボール用コートについても存在することすら今まで知りませんでした。この計画段階での協議や意見集約の透明度をあげてほしいと思います。 ・以下の問題があったことも特定議員の Twitter でしか知りえませんでした。地域住民には経緯などを知るような改善はできないのでしょうか。堀部やすし 杉並区議会議員 @HORIBE_Yasushi 8月12日 新・杉並区長が情報公開を決定したものの、利害関係者の申立てにより公開手続が執行停止となっているのは、この「浜田山駅南口（地下連絡通路）整備事業」に関する情報／交渉記録などです。この公共事業は、前区長が協定を締結したのですが、その経緯等について公開を拒む利害関係者がいるのです。</p>
426		<p>区民には難しい内容ですので、区の方から直接説明していただける場があれば、より理解ができたと思います。これまで区が進めてきたまちづくりや都市基盤の整備を引き続き積極的に前進させより良い街を築いて下さい。特に高井戸オンランプの推進を希望します。</p>
427		<p>道路整備方針 2 安全で快適な歩行者・自転車空間の確保 では、ウォークアブルなまちづくりの取組を進めるとよいのではと思います。 みどりと水のまちづくり方針 5 みどりと水のネットワークの形成では、公園緑地からの冷気の風の道として、緑と河川とのネットワーク形成を進める取組もよいかと思います。 ゼロカーボンシティを目指す街づくり方針 ヒートアイランド対策の促進では、熱環境を緩和するみどりと水のネットワーク形成を進めることをあるとよいと思います。</p>
428		<p>とても良く考えられた骨子案だと私は思います。完全に実現する道のりは険しいとは思いますが応援しています。</p>

429		お疲れ様です。住民の声をしっかり聞いてくださると言うこの説明は素晴らしいと思います。素晴らしい、住み続けたい街、杉並をみんなで作り上げていきたいと思います。
430		区民が安く住める公団のようなものが欲しい。そういった団地のなかでコモンのようなコミュニティが生まれる場所を作りたい。
431		高井戸地域～永福和泉地域在住で、他地域の特性などは詳しくわからないのですが、世田谷区境なこともあり、杉並在住感が少ないです。3.11の後東電より買収してくださった、おおぞら公園が、みどり豊かな住まいのみやこのまちづくりを象徴するような公園だなと体感しており、中央線中心部では見られる、お祭り（盆踊りなど）などイベントでの活用など活気が見られると、より「多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち」としての形に近づいていくように思いました。※骨子案のようにきちんと言葉で書けずすみません。住民間の交流が増え、活気ある街への取り組みがあるといいかなと思いました。
432		総合方針（分野別方針）、地域別方針については、内容を相当吟味された跡があり、将来像を実現するための骨子案として納得のできるものでした。一方でその実現性については、この基本方針骨子案をどこまで推進できるのか、今一つ不安感をめぐえません。例えば、新区長の強い問題意識のある「ゼロカーボンシティを目指すまちづくり方針」で見ると、方針は是認できるものの、実行計画の概要（別途、詳細計画案があると思いますが）が参考資料として提示されていないと腹落ちがしない感が強いです。というのも、ゼロカーボンシティを杉並区としてどのように評価するのか、現状レベルはどの段階にあるか、さらに言えば国、東京都の推進次第では杉並区単独での達成が不可能ではないか、と色々と考えてしまうのが実情です。やはり、各方針間・方針の内容の優先度、財政的・人的制約下での優先度の評価など、この方針案提示と共に参考資料で構いませんので追加情報開示が必要であるように思いました。
433		杉並区は未完成の都市計画道路が多いと感じます。とくに南北方向の交通網が貧弱なので駅前渋滞が酷く、古い家が多いエリアでは防災のためにもなると思っています。例えば西荻窪の補助132号線は一日も早い完成を心待ちにしています。その他の都市計画道路も早く整備を進めていく方針をはっきりと示してほしいです。よろしくお願いします。
434		
435		
436		ゼロカーボンの達成には公共施設は建て替えでなく、改修で幅広くアイデアを募るようにして下さい。使われていない区施設で有効なところが沢山あ

		ります。とてももったいない、地域住民の防災拠点であったり交流の場であったり皆から意見を聞いてうまく利用すると大きく化けると思います。凝ったプロポでなく専門家の力を借りてひとつ試しに行ってみては如何でしょうか？今の時代、建て替えは古いです
437		クロスバイク、自動車両方を日常的に使用しています。自転車道の整備について意見です。 既存の道路を拡張せず自転車レーンを設定する方式で整備した練馬区など他地域を車、自転車双方で走ったことがあります。欧州と違い、自転車自動車双方にゆとりのあるレーン整備をせず、走っていて本当にこわい思いをしています。 自転車レーンを整備している自治体の多くは「やりました」を達成するだけの整備が多く、安全性に対してはドライバーに責任を押し付ける整備が目立ちます。このような、「自転車利用促進」「自転車の利便性向上」など聞こえのいい大義名分を盾に安全性を無視した自転車レーンの整備の検討はやめてください。やるのであれば自転車自動車双方が安全に走れる道路の再整備を踏まえた事業とし、ただ既存道路に自転車レーンを敷くだけの税金をドブに捨てる施策だけは絶対に避けてください。
438		
439		方南中央公園は、すべりだいやお砂場が小さくなり大人数で遊ぶことが難しくなっていました。また、ボールを蹴れるコートも小学生が全力でサッカーしているため幼児が使用できなかつたり。子どもたちが元気に走り回れる公園の整備をお願いします。方南二丁目公園も木が生い茂りすぎ虫がすごく奥まっているので不審者など子どもの安全面が不十分だと考えています。子どもたちパパママが安心して遊べる場所の整備をよろしくをお願いします。
440		
441		221 号線などは、事前測量率 60%と報告されていたが、実際は 10%程度と事前調査情報と大きな乖離がある。 虚偽データで報告者は処罰の対象になるのではと思う程無理があるし、阿佐ヶ谷まで一直線に繋がるならともかく、そこまでの道路を必要としていない。中野区側の報告会でも杉並区からは何の意見もないとのことでしたが、そもそも聞かれていないので、それはクレームをいれるべきで、杉並区担当者は中野区に忖度している気がし、辞めてもらいたいくらい信用ができない。 あとそもそもこのアプリで入力欄への入力はいづらい。
442		
443		132 号線に関しては、住民側から設計図も含めた提案が出ていると聞いています。ただ道路を拡幅する、という何十年も前から元々あった計画が今の現状に見合っていないのではないのでしょうか。132 号線以外の道路計画や再開

		発についても、住民との話し合いの中から、暮らしを壊すことなくまちづくりを進めていける方法はないのか、今一度全て考え直してほしいと思います。
444		
445		まずは意見を伝えたく。今の方針は大幅な見直しが必要ではないでしょうか。
446		
447		都市計画道路については、多くの住民の合意は得られていません。前区政のように住民意見を無視して整備を進めるのではなく、凍結・中止・事業認可を取り消すべきです。多心型まちづくりではなく、以前の杉並区が進めてきたどこに住んでも行政サービスが受けられる近隣住区の方針でまちづくりを進めて下さい。一般的に前区政が強引に進めてきた開発主体の方針となっている事が問題です。ゼロカーボンシティを目指すためのCO2排出削減を進めるための明確な方針を示し、具体的な取り組みを行なって下さい。今後、行われる区立施設の建設、改築、建て替えにおいてはZEB化を前提とし、国や東京都、公共交通機関等にも強く要請すると共に、民間建築物についてもZEB化を促進するよう誘導して下さい。
448		計画全体を通して、まちづくりに夢が無い。お役所仕事の典型例。骨子案への意見集めをすることは評価できるが、「将来のまちが、こんなだと良いな」という夢のあるイメージがわく計画にした方が良い。西荻のまちについては、相変わらず132号道路の整備が書かれているが、区長も交代したのだから、必要性の有無やこれまでの進め方に問題が無かったのか？検証すべき。西荻のまちの魅力は、こじんまりとした商店が多いことだと思う。広い道路ではなく、西荻のまちに合わせた小幅な修正(電柱撤去、段差解消、車両規制等々)が必要だと思う。
449		
450		10月1日付の骨子案についての意見 高円寺在住40年の者です。 いつも杉並区の為にありがとうございます。 これは新区長の元にまとめられたものでしょうか？ 前区長の内容と同じような気がします。 新体制になったのだから、骨子案を発表する前にもう一度よく住民と話し合ってください。 新区長は反対意見の方とも充分話し合うと言われていたはず。 前区長の決定された事は、一旦ストップ出来ませんか？ 本当に必要な案件ならば反対する人も説得出来るはずです。

	<p>それが出来ないならどうしても利権がらみと疑ってしまいます。 担当部署の方々も大変でしょうが、新区長の元にもう一度前区長の決めた案件は練り直して下さい。 その手間こそが区民の為の仕事です。 必ずもっといい杉並区になる事を願っています。 同じ内容で区長室にもメールを出してみます。</p>
451	<p>都市整備部管理課企画調査係殿</p> <p>広報杉並に記載された、「杉並区まちづくり基本方針骨子案についてご意見を」との呼びかけに応じて、以下投稿します。</p> <p>杉並区成田西の住人の×××と申します。 祖父母の代から百年近く、この地に暮らしている、3代目です。</p> <p>近隣の方々と、善福寺川緑地の緑保全に取り組んでおります。 その観点から、骨子案についての意見を寄せさせていただきます。</p> <p>まず、「基本方針の目的と性格」の項はとても良いと思います。特に街づくりの目標として、脱炭素の視点を念頭において「緑豊かな住まいのみやこを実現」としている点は、大賛成です。 しかし具体的に「道路整備」の項目になると、賛成しかねる所があります。</p> <p>私達が進めている善福寺川緑地の緑保全の活動と関わる、補助 133 号線について問題点を述べます。</p> <p>133 号線は中杉通りから延伸するように記載されていますが、住宅地に計画されており、現有道路は全くありません。一帯住宅は庭に屋敷林を備えた家も多く、それらを破砕する計画は、「脱炭素の視点」と「緑豊かなまちづくり」に大きくもとるものです。</p> <p>又、五日市街道から更に南に延伸する計画路線は、善福寺川緑地を通るようになっていきます。善福寺川緑地は、杉並区の中で最大で中心的な緑地帯を形成しており、それを一部であれ破壊するこの計画はとても納得できるものではありません。</p> <p>さらにこの計画路線内に、地域医療を支える診療所が入っています。遠くに通院することが難しい高齢者が多い周辺住民は、大変不安に思っています。 又、医療機関の閉鎖・解体は、通常の建物とは桁違いのコストと危険性、環</p>

	<p>境負荷 がかかります。このようなことを無視して道路建設を強行するほどのメリットが、果たしてあるのでしょうか。</p> <p>善福寺川緑地は、成田西(当時は成宗)の先人達が10年余の住民運動により作り上げたものです。1950年代一帯は耕作放棄地で、飯場や産廃置き場が覆い大変治安の悪い所でした。××××××××××××、心配した住民達(私達の祖父母世代)が当時の地元選出(当時は中選挙区)の衆院議員金子みつ氏と共に運動した結果、都立公園として1964年、天王橋から尾崎橋を端緒として開園したものです。</p> <p>困難な運動を担った当時の住人達の合言葉は「50年先の緑豊かな杉並のためにがんばろう」でした。58年目の現在、私達も先人に倣って50年先の杉並を目指して活動しています。</p> <p>133号線がすぐ脇を通ることになっている東田中学校は、1960年代1970年代環七の交通渋滞を受けた光化学スモッグにより、屋外活動をする生徒たちがバタバタ倒れることで有名でした。しかし善福寺川緑地の緑が豊かに育つに連れ、被害は殆どなくなりました。住民達は緑の効用を実感したものです。</p> <p>その東田中学校脇をかすめるように、133号線という大きな道路をつくるのは！</p> <p>杉丸南北バスけやき路線も、成田西のまちづくりの住民運動が区に働きかけてできたものです。</p> <p>「静かな住宅地に大きな道路は要らない。小回りのきくミニバスで、住民の足を確保しよう」と言い合っていると聞いています。</p> <p>防災についても、緑地帯は有効な拠点であり、災害時消防車等の通行が必要の際は緑地帯の通路を使用するように、住民達は提言していました。防災対策としても、道路をつくる以外にも工夫の余地は多々あると思います。</p> <p>防災を理由に「道路整備」と称して緑を壊すことに、強く反対する所以です。</p> <p>そもそも133号線の計画の大もとは、戦前からのものです。1943年、現在の中杉通りは軍用道路として、住人を強制疎開(退去)させて</p>
--	--

	<p>作られたのがはじめです。強制退去させた後、近隣各戸1名屈強な男子を供出させヨイトマケでさら地にしました。供出当人である当時学生だった叔父から、「強制退去させられた人はどうなったか、本当にひどいことをしたものだ」と直接聞きました。</p> <p>中杉通りの由来を、防火対策のため「防火ベルト地帯として強制疎開により整備」などとネットには書かれていますが、これは綺麗ごとの記述です。当時の住民達は軍用道路を作る、場合によっては飛行機の滑走路にも代用できるなどと説明されて、軍部独裁の下有無を言わず従わされてきたのです。</p> <p>戦局悪化で中杉通り以南の計画(133号線の原型)が頓挫して、現在に至っています。</p> <p>133号線は、目的も定かでなく「計画ありき」で走っている無駄な道路と思われる。</p> <p>又、現有道路が全くない住宅地に反対の多い住民を退去させて作ろうとするなど、戦前的な非民主的手法は許すまじきことです。</p> <p>二重三重に問題のある133号線は、即刻やめるべきと思います。</p> <p>杉並区としてこの計画を破棄し、東京都に対してもしっかり申し入れをして下さるよう、お願い致します。</p>
452	<p>杉並区都市整備部管理課企画調査係 御中</p> <p>杉並区・まちづくり基本方針で大きな問題となっている進行中の都市計画道路について、岸本区長がいつも口にされている通り住民との対話が一番大切だと思います。</p> <p>区民の力で「ゼロカーボン」「みどり豊かな」「住まいの都」が作れば次世代の子供たちへの財産になります。</p> <p>岸本区長のご意見に賛成いたします。</p>
453	<p>1, 本骨子案に対する区民の意見聴取方法について 広く区民の意見を募集する貴重な機会を設けてくださったのは評価します</p>

が、3つの点において問題があると思う。
一つには、募集開始が本骨子案の内容公表日を含めて17日間と言う短期である点。平日は仕事などの関係で詳細に内容を検討したり、意見を策定したりする時間が取れない人も多い中で、この期間では土日祝日はたった5日しかない。近隣の人々や区内の知事入人と本骨子案について話合うのも困難だ。

二つ目は、本骨子案への意見募集を知らせる2022年10月1日の区報No.2338が全戸配布でなく、周知方法が不十分。インターネットにアクセスできない区民も結構いる。

三つ目は、「杉並区まちづくり基本方針骨子案に関する意見票」という用紙を設けて、4択で統計処理をしようとしていると思われませんが、それぞれの項目にさらに多岐にわたる内容が盛り込まれており、それを十把一絡げに印象を聞いて何の意味があるのか意図を図りかねる。そのうえ、個別問題について意見を書こうと思う区民には、全く不要なアンケートだ。

2. 道路整備方針について

(1) フランスのストラスブールではパークアンドライドを1990年代に導入し、一定の自動車を町から締め出した。他方、一旦は廃止したトラム（路面電車）を復活させ、大気汚染解消や幼児のいる家庭・身体に障がいがある人々・高齢者に優しい街を実現している。このことは今日的にはCO2削減にも大いに寄与している。

わが杉並区においてゆくゆくは、パークアンドバイク・公共の電気自動車の導入をぜひ行ってもらいたい。すなわち、道路の拡幅によって自動車の流れをスムーズにするのではなく、区内に入る自動車数を制限して道路幅は変えずに、防災性や歩行者や自転車の安全・快適性を実現していただきたい。

(2) 補助第132号線について

補助第132号線の計画は戦後すぐに計画され、1966年に計画変更された後は、2016年に急に測量や説明会を始めたと記憶する。

いったいどのような要請があって半世紀も放置された計画が動き始めたのか、税金が絡むことだけに、納税者区民・都民としては看過できない。しかも、今回骨子案で対象とする青梅街道から南下して西荻窪駅の南までであるのは、道路整備による「延焼遮断帯の形成や避難路の確保」が実現できるのか疑問である。

事業認可が下りている区間について用地の取得や拡幅工事を行う場合、南側の道路完成といえる五日市街道や井の頭通りとつながるのか全く先が見

えない。その間に、取得された用地が虫食い状に点々とある風景が広がることになる。「町を良くしよう」と思って動き始めた計画で、まちは荒廃する上に多額の税金が費やされることになりかねない。

そのうえ、道路拡幅は道の両側を分断し、両側の人行き来を阻害する。高円寺駅の南側の拡幅された道路がその事を良く物語っている

私は、西荻窪の住民ではないが、個性豊かな個人商店と人間のスケールにあった丁度良い道幅の現在の補助第 132 号線が織りなす街を愛する者として、拡幅をしないで欲しい。

防災云々については、例えば重要伝統的建造物群保存地区の道路拡幅を行えない地域の様々な知恵も検討に値すると思う。他にも道路拡幅ありきの発想から離れて、様々な方法を検討し、地域住民とともに検討していく必要があると思う。

いずれにせよ、私は最終的に杉並区内の市街地道路からは、できるだけ自動車を締め出す政策を目指して欲しいと思う。

なお、事業認可が下りている区間の地権者から、土地の買取要求が来た場合には、そこに植栽し緑を増やしたり、高齢者や幼児連れなどが休むベンチを置くなどしてミニ公園にすればよい。

ともかく、計画の進行を短くても 1 年は棚上げにして、地域住民に止まらず、西荻の町を買い物などでよく利用し、思いを寄せる他地域の意見も聞きながら熟議を重ねた後に結論を出して欲しい。

(3) 補助第 133 号線について

静かで緑の多い住宅街であり、善福寺川へ下る河岸段丘の織り成す地形と善福寺緑地へつながるこの地域に、どうして道路計画を実現しなくてはならないのかりかいでない。住んでいる人々の生活を破壊しかねない本計画は、緑を大幅に減らすこととなり、「脱炭素を目指すまちづくり」にも反している。

(2) 同様計画の進行を短くても 1 年は棚上げにして、地域住民に止まらず、南阿佐谷の南の景観を愛する他地域の意見も聞きながら、熟議を重ねた後に結論を出して欲しい。

(4) 補助第 227 号線について

本計画は高円寺北口の、庚申通り商店街や純情商店街を潰し、通す計画と思うが、本計画が実現してしまったら、地元の商店の人たちや地元に住んでいる人たち、私を含め遠くからわざわざ買い物などで訪れる人たちの繋がりを破壊してしまう。そして、まちは荒廃すると思う。

くれぐれも地元やよそから来る人も含めて、熟議を重ね、計画を進める

		<p>のかどうかを時間を掛けて決める手続きを作って欲しい。期間は最低1年は掛けて欲しい。</p> <p>以上</p>
454		<p>都市整備部管理課企画調査係 担当者 御中</p> <p>私は喘息の持病があり、わざわざ外環道路の建設に伴う工事の粉塵で喘息が悪化し、就労にも影響し世田谷区からわざわざ、善福寺川緑地の川沿いに引っ越してきました。</p> <p>ところが133号線が私の自宅目の前を横切ると聞き、なんのために引っ越してきたのかと、反対の意見を表明したく mail しています。</p> <p>この桜が美しく、緑豊かな善福寺川緑地の自然を破壊する道路の建設は中止してください！</p>
455		<p>西荻窪北道路拡張に断固反対します。</p> <p>工事中のバス路線を考えただけでもゾッとします。</p> <p>渋滞が殆ど無いこんな小さな街に広い道路は不要、ここは街を歩くのが楽しい道、やっと育ったプラタナス並木を消し去る計画には大反対です。</p>
456		<p>気候変動が世界的な問題になっており、脱道路、脱車、にむけて大きく動いています。</p> <p>道路の拡幅、再開発でビルが立ち並ぶ街づくりは、時代に逆行しています。</p> <p>10年先を見通しての街づくりの骨子案とするしているにもかかわらず、10月1日～17日までに意見を募集は、あまりに拙速すぎると思います。</p> <p>まず、10年先の街づくりというのなら、それぞれの地域で話し合いがあり、その話し合いをベースに、「方針・骨子案」が作成されてこそ、自治基本条例にある「住民と行政の協同」がなりたつのではないのでしょうか？</p> <p>来年の3月に方針を決めるなんて、あまりに乱暴すぎます。</p> <p>人々が安全に移動できる道路の整備、例えば歩道の段差や凸凹などを整備することは急がれますが、区内の都市計画道路の事業着工には反対です。</p> <p>理由は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 環境破壊につながる。 ② 膨大な税金が使われる ③ 道路の幅が大きくなると、高齢者、障がい者、子どもなど横断するのが

	<p>危険になり、安心安全を奪われる。</p> <p>④ 道路が広くなると容積率が上がり、高層ビルが立ち並ぶことになりかねない。</p> <p>⑤ 地代が高騰し个性的なお店は立ち行かなくなり、チェーン店だらけになり、重要な街のコミュニティ、文化が破壊される。</p> <p>以上です。</p> <p>「ゼロカーボンシティ宣言」は重要です。</p> <p>緑の保全を重視し、人々の安心安全が最優先される街づくりを、住民と共に時間をかけて話し合われることを熱望します。</p>
457	<p>杉並区まちづくり基本方針（骨子案）に対して</p> <p>区報を全戸配布でなく、10月1日付けの区報に載せ、17日までに住民の意見を聞きたいとの事。まちづくり基本方針の骨子案に対し住民の意見を聞くなど、今までになかった事は、大いに評価しますが、丁寧な説明もなく、従来のパターンにゼロカーボンシティの達成を入れ込んだだけでした。そして難解な言葉の羅列で、到底一読して理解出来るボリュームでもありません。</p> <p>ここ杉並は、私が生まれ、育ち、親から受け継いだ、終の住処です。自分が住む場所が、道路建設のために壊され、コンクリート化していく事はどうしても納得できませんし、容認できかねます。主権在民である私達住民は、この土地に安心安全に住む権利が保証されています。少なくとも、私はこの土地に76年以上住んでいます。そしてこの恵まれた緑豊かな場所を次世代に残す事が、私たち住民の使命です。</p> <p>この骨子案のところどころに、緑豊かな、としてある事は、取りも直さず、それが杉並の特徴であり、守るべき貴重な杉並の財産だからです。</p> <p>P3 P4 脱炭素を目指すまちづくり、とうたって、「みどり豊かな 住まいのみやこ」を目指すとしていますが、今更70数年以上も前の都市計画道路を持ち出して、道路拡張や延長をして、車中心の都市計画をしている文明国が、世界中のどこにありますか？目指す事と実際進めている事業が矛盾している、とは思わないのですか？</p> <p>車は毎年のように総数が減少しています。道路拡張や延長工事をする必要性は70年前と違いますし、多額の税金を道路建設に使う事にも大いに反対です。</p>

		<p>P5 道路整備方針についての修正案</p> <p>杉並区にはすでに、環七、環八と主要幹線道路があります。土地利用、市街地整備方針で、「ゼロカーボンシティを目指した土地利用を推進し、将来にわたって云々、」と堂々とうたっていますので、</p> <p>ぜひ、国、都等と再度協議して、これから10年後の杉並区のあるべき姿、道路建設予定地に愛する家を構え、平和に暮らしている人々の幸せを壊して、緑豊かな文教住宅地を分断、破壊して、果たしてそこに道路は必要なのかを、丁寧に、検証して頂きたい。</p> <p>検証する際も、以前は全く行われなかった住民との対話を重ね、住民意見の尊重を大前提に判断、と修正されている通りに、私たち住民にそった検証をお願いします。</p> <p>杉並区でのゼロカーボンシティの達成は、CO2を極力出さない、思いきった政策、そして、道路、建物の建設予定工事を差し止めるといった勇断が必要です。今、すぐすべきです。</p> <p>私達住民は、この緑豊かな、自然に恵まれた環境をこよなく愛して生活してきました。次世代の子供たちの為に、いち早く脱炭素を目指した革新的な行動を取った杉並区、住民のことを大事に思っていて、住民が安心して住める杉並区を目指して行動する自治体、杉並区、であってほしい。</p> <p>世界も、日本中も、新しい杉並区の取り組みを注目しています。</p>
458		<p>① 善福寺川沿いの公園の木を切ってまで、補助133号線の道路を作らなければならない理由がわかりません。</p> <p>② JR阿佐ヶ谷駅北東地域の『防災拠点となるみどりの拠点・・・』には、とても期待しています。災害がおきた時に阿佐ヶ谷の人達が逃げ込めるような緑地、原っぱ、火災の延焼を止めてくれるような緑地が欲しいです。</p>
459		<p>私は杉並区の南端の甲州街道沿いに住む杉並区の住民です。</p> <p>当区の「まちづくり基本方針」については、その概要を理解しているつもりです。</p> <p>しかし、まちづくりについては、「鳥の目」と「虫の目」をつべきだと感じます。</p> <p>「鳥の目」 これは主として「みち」一計画道路に対する意見です。</p>

	<p>東京の都市計画道路は、1927年今から95年も前に計画され、戦後見直しもありましたが、ほとんどその線形は変更なく今日に至っています。</p> <p>環状7号線も8号線もこれに沿って多大な苦勞の末にできました。今日の問題はその間にある補助線です。</p> <p>「みち」は広域に住む人の利便のためのものです。が、敷設する地域の住民の反対で前に進まない。</p> <p>「みち」の問題は、学校や、広場など、地域の問題とは性格が異なり「鳥の目」で、考える必要があります。</p> <p>「まちづくり基本方針」にはそうした視点がやや欠けているように感じます。</p> <p>「虫の目」 私は、当区の南端、下甲州街道沿いの高井戸の住民ですから、日常の生活でしばしば南の世田谷区にお世話になって生活しています。つまり商店街の過半は世田谷区にあります。「まちづくり基本方針」が、いくつかのブロックにわけていることは承知しておりますが、隣接区とのすり合わせが、あまりうまくできていないように感じます。</p>
460	
461	<p>「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）」の改定に際し、「骨子案」をまとめ、パブリックコメントを募集されているとのこと。</p> <p>地域別方針における「阿佐ヶ谷地域」 2 都市計画道路などの基盤整備と魅力的な沿道景観の形成 「都市計画道路補助133号線の整備」が、善福寺川緑地を横切る計画と知り、反対の意見をお伝え致します。</p> <p>みどり豊かで、希少種のオオタカが営巣する緑地を破壊して、「街路樹によるみどり」に置き換えることは、決して「魅力的な沿道景観の形成」とは言えません。</p>

	<p>また、地域住民への丁寧な説明もないままに、突如持ち上がった「都市計画道路補助 133 号線の整備」に驚いています。ただちに、中止してください。</p> <p>パブリックコメントの募集期間が「令和 4 年 10 月 1 日（土曜日）～10 月 17 日（月曜日）」</p> <p>と短期間では、多様な意見を集めることは難しいと考えます。</p>
462	<p>私ごときが大変申し訳ないのですが、杉並区民として申し上げます。</p> <p>杉並区の住環境改善、商業の振興、交通の利便性の向上、自然への配慮、SDGz への整合性などと、この計画が実現されたら、何が良くなるのかをより明確に示してもらえると意見が出しやすくなります。</p> <p>また、杉並区の各街の魅力てきな個性についての思索を充実させてください、浜田山は上質な住宅街、高円寺は若者が集まる、阿佐ヶ谷子供と老人が安心して暮らせる街、荻窪はなど、何度もよいので、今どんな街で、今後はどんな街として発展させるのか、明確なイメージを示してください。</p> <p>この骨格案は区民とのコミュニケーションを行うことに問題を抱えています。ケビン・リンチの形態図は大多数の区民には街の発展がどうなっていくのか伝わってきません。</p> <p>凡例や説明文に出てくる拠点や軸の定義や説明が無く、具体的な方向性についても文言のみでイメージ図や模型などが無いので、区民の理解を容易にする努力してください。絵本のように、漫画のように、印象派の絵画のように、誰にでも簡単にわかる資料の作成を目指してください。</p> <p>釈迦に説法で大変申し訳ないのですが、都市計画の手順以下のとおりです。</p> <p>現在の街の特性、問題点などの現状を分析、把握し、発展の方向を定め、具体的なゾーニング、交通整備計画、環境改善策を作り上げ、全体像を計画として市民に示し、イメージとして伝え、意見をくみ上げて計画を寄り市民の生活に沿ったものとする。</p> <p>今後の計画資料では、街の現状分析と問題点の抽出を示して、住居環境、交通環境の改善などの実生活への良い部分を示してください。</p> <p>水辺、緑、など自然を感じて生活する計画だからこそ、脱炭素の宣言は区民の子供の未来に必要なだとして、今後はさらに脱炭素の必然性を示す計画としてください。</p> <p>フランスではグランパリ計画より発展した計画が以下の HP に紹介されています。ヨーロッパの建築界では都市計画が最も尊い仕事とされています。大学では全ての建築を目指す学生が最低限の知識として都市計画を学び、建築</p>

	<p>より都市計画が展覧会で発信され、討論会などが開かれています。市民へのコミュニケーションも非常に大切にされています。グランパリ計画などは以下のサイトを参考になさってください。</p> <p>https://jp.france.fr/ja/paris/list/innovants-et-durables-9-projets-qui-metamorphosent-paris</p> <p>また、佐賀市の景観計画は資料として幾分わかりやすいので参考になさってください。</p> <p>https://www.city.saga.lg.jp/main/2497.html</p> <p>良い所は沢山ありますので、あえて触れません、短期間でこの量は大変な仕事だと思えます。</p> <p>杉並区は新たな区長が選ばれ、区政が変わると期待しています。区職員もそうであって欲しいと願っています。</p> <p>新区長が目指しておられることをより明確に、一目で感じ取れる様な都市計画の展覧会を行い、「杉並区政は新市長の元で変わった。」と感ずることが出来る都市計画としてください。今後ともがんばってください、応援しています。</p>
463	<p>私は高円寺で生まれ、育ちました。杉並区には阿佐谷文士村を始め、多くの文化人ゆかりの地として知られています。例えば、高円寺は近代川柳の中興の祖といわれる井上剣花坊（1870～1934）が関東大震災後の1924年6月より杉並区高円寺1000番地に住み、弟子であった小説家の吉川英治と共に馬橋に転居、柳樽寺川柳会の機関誌「川柳人」を刊行しました。この地で剣花坊は文学としての川柳を探究し、吉川英治などの杉並区の文学者たちとも交流を深めました。また、剣花坊の妻・井上信子は長谷川時雨と交流し、「女人芸術」で「新興川柳」欄を担当し、「川柳女性の会」を作り、川柳界で初めてジェンダー平等を唱え、1940年、太平洋戦争の前夜、「国境を知らぬ草の実こぼれ合い」の平和川柳を戦時中に発表しました。この井上信子は杉並の城西消費者組合の婦人部長も務め、社会活動を通して女性の地位向上に努めました。剣花坊の「川柳人」の発行所であった馬橋は1946年2月、気象研究所となり、現在は馬橋公園になっています。この馬橋公園の一角に川柳文学の句碑やプレートを建立し、そこを川柳文学の広場として杉並区民の憩いの場となる川柳文学の広場を設置するなど、杉並区の文学的資源を生かしたみどりの核づくりと歩行者空間のネットワークの形成に際し、文学や文化の視点を取り入れ、区民が杉並ならではの文化的資源を認証できるようにしてもらいたい。</p>
464	<p>杉並区は「ゼロカーボンシティ」を目指しています。</p> <p>杉並に新しい風が吹き込んできたように感じました。大賛成です。</p>

	<p>近年、わたしたちの世界は地球温暖化の影響で、台風は強大化していますし、豪雨による大規模な自然災害がたびたび発生するようになりました。「温室効果ガス排出量を実質ゼロにする脱炭素社会」の形成は急務になっていると、多くの区民は実感していると思います。</p> <p>しかし、これまでの杉並区政は、駅前の再開発や大規模道路の拡幅計画などが、そこに住んで暮らしている区民の意見を無視し、「すでに決まっていることだ」として、巨大道路や巨大ビル建設を強引にすすめてきています。</p> <p>いつ起こるかわからない首都直下型地震への対策も喫緊の課題でもあります。数十年かかるような道路拡幅対策にばかりにとらわれていては、緊急を要する課題に対処できません。建物の不燃化、耐震化や、細かい地域ごとの市民グループによる防災訓練や必要な諸設備の設置・充実などが求められていると思います。</p> <p>西荻の街は静かで、それぞれの店に個性があり散歩して楽しい街です。補助 132 号線として「人より車を優先」して道路拡幅してはいけない。街中を車が走りまわる姿にしてはゼロカーボンシティにならない。また、高円寺北口の純情商店街は人と人との距離が近く、下町のような人情をまだ残しているし、若い人が集まって独特の文化を築いている。そのカオスのような街の雰囲気はとても魅力的です。補助 227 号線の拡幅はストップすべきです。</p> <p>ゼロカーボンシティ・首都圏直下型地震対策を基調にし、再検討をすべきだろうと思います。東京都にも、この件での杉並区の主張をはっきり主張すべきだとおもいます。</p> <p>以上です。</p>
465	<p>まず、この提案はこれまでの前区長下では無かった取り組みであることを評価します。</p> <p>しかし、骨子案の意見募集を区民全戸に配布すべきはなかったか。区民のかなりの方々はこの提案を知りません。また、残念ながら杉並区には行政と住民の間であまりにも問題が山積みされてきたため現在また今後の生活に不安を抱えているのが現状です。行政と区民との対話がほとんどない状態でこの提案から意見提出までの時間はあまりにも短かすぎます。</p>

骨子案が多岐にわたる内容の為、一部の件に絞り意見をださせていただきます。

1. 道路拡張／延長と駅前開発

都市計画策定に際し、住民・区民への説明会や公聴会を行ったうえで、あるいはアンケート・広報等で内容を周知したうえでの計画なのか？住民が意見を言える場があったのか？また、数十年前の道路拡張・延長計画をそのまま踏襲して計画を進めようとしている。一部の地域では道路拡張計画への認可が東京都から下りているようですが、長期間着手されていない計画道路は社会的情勢を踏まえ見直すべしと国土交通省は各都道府県に指示しています。しかしながら東京都はほとんど見直しをせず諸事業を進めている。当初の計画時にはC o 2問題が現在ほど深刻ではなかったと思います。今やゼロカーボンシティを目指した町づくりが必須の時代です。環境を損ない計画予定地の住民の生活を奪い、更にはグリーンインフラを失い安全も損なわれる道路計画は全く逆行していると言わざるをえません。

現在杉並の地、数か所で道路問題が提起されている折から、杉並区から率先して東京都あるいは国土交通省に対して見直しの指示を遵守するよう声を上げるべきではないでしょうか。新区長下でこれは可能だと思います。確か、この度の区長選挙時に岸本区長は、都や国に対してでも遠慮なく物を言うとの発言があったはずで。

2. 今後の話し合い

さところブレストは行うとしても、それとは別に超党派の区議と住民の対話の必要性を強く感じます。区議会や審議会には傍聴権はあるもののオフィシャルな話し合いの場は皆無で、提議された案件に関して区民の声は繁栄されているのでしょうか。諸案件が議会や審議会で一方的に議決されている場を度々目にしています。区民が蚊帳の外に置かれているのが現状です。特に、住民の生活にかかわる道路開発に関する重要な審議会に参席の構成メンバーの在り方に疑問を感じます。有識者、地元事業者、団体並びに区議からなる構成メンバーの選定基準や方法はどのようになっているのでしょうか。このままでは区民・住民の声は届かず暮らしやすいまちづくりができないと考えます。前区長時からのメンバー刷新の必要性を強く感じました。

みどり豊かな住まいのみやこ杉並を実現するために脱炭素を念頭に置き、住環境の保全・育成や道路問題など区民に寄り添い暮らしやすいまちづくりに協働するのが区の行政ならびに区議会、さらには審議会の責務ではないで

	<p>しょうか。</p> <p>当都市計画マスタープランに関しても区の行政の関連部署ならびに区議との直接の対話集会の開催が必要かと思います。特に、区内で持ち上がっている駅前開発や道路問題に関しては、行政の関係部署（特に、都市整備部）と住民との直接対話集会を実現するよう要望します。</p> <p>骨子案の意見募集⇒骨子案から方針案の策定⇒パブコメ⇒（区への意見提出）⇒を経て令和5年3月方針策定とありますが計画が拙速すぎます。多々ある都市計画マスタープランの改定に向けて時間をかけて区民との対話を強く希望します。</p> <p>特に、高円寺北の221号線道路拡張に関しては、地域の環境破壊と分断、交通量の激増による安全性への危惧、更にはCO2増により目指すゼロカーボンシティに逆行するものです。くらしやすいまちづくりのキーポイントです。</p> <p>隣区の開発計画からのプレッシャーもあるかと思いますが道路整備などの重要な取り組みについては今後何年でも時間をかけての話しあいによる基本方針の見直しを強く求めます。</p>
466	<p>*2 骨子案の総合方針（分野別方針）及び地域別方針について、不十分な取組などがあれば、お書きください。（自由記述欄）*</p> <p>【ご意見の内容】</p> <p>一方針案には自分の考えに近い部分もあれば遠いところもあり概括して4択のいずれかを選ぶのは困難です。以下の自由記述からご判断ください。</p> <p>◎</p> <p>骨子案の段階で意見を募集し、方針案に反映しようという岸本区長の対応を支持します。それだけに、①募集期間が短い、②骨子案自体が解り難く、③意見票冒頭に回答し難いアンケートが置かれているなどから、意見が出し難いものとなっています。そう思うのは私だけでしょうか。とても残念です。</p> <p>動画冒頭の区長発言からは「区民との対話」を重視する本気の姿勢が読み取れます。また敢えて「締切後」にふれて、「締め切り後も様々な形で対話は続く」との表明がありました。この姿勢が、区議会の各党各派議員や区の職員一人ひとりのものになって欲しいと思います。</p>

◎

もう一つ、この骨子案で高く評価できるのは、「脱炭素化へ向けた全員参加の取組」が改定の基本に加えられ、他分野の方針に反映し各分野の取り組みと連携してみどり豊かなまちづくりが実現する、「分野横断的」視点とされたことです。同様に分野横断的な目標・視点として、生活困窮層の増大と貧富の格差拡大を是正する課題、ジェンダー平等の取組、核兵器廃絶の問題があります。貧困とジェンダーの課題は、「誰一人取り残されることのない社会」の核心であり、核戦争は人類の存続にかかわる大人災です。

まちづくり基本方針においても重視されるべき視点と思います。

◎

都市計画道路の整備方針は、西荻、阿佐ヶ谷、高円寺地域などで区長選の大きな争点となりました。地元住民の疑問や要望に真摯に向き合おうとせず、既定方針を押し通そうとする田中区政に、NO審判を突きつけたのが、今度の区長選挙でした。骨子案は、こうした経緯を無視して、対話や合意形成を飾り文句にちりばめつつ「整備推進」の既定方針強行を明記しています。これらの道路計画について「事業未着手」区間に限らず「必要性の検証」から始め、「必要性」が立証されない計画については中止すべきです。

◎

関連して、基本方針の性格にある「区、区民及び事業者の協働」について一言します。2017年施設一体型小中一貫校「高円寺学園」の建設計画をめぐり、工事を請け負う業者が住民を相手に訴訟を起こし、マスコミもこれを「スラップ訴訟」として報道する事件がありました。都市計画をめぐって、区民と区（行政）、事業者の間で摩擦が生じることは起こりうることで、問題はそれをどう解決するかです。主権者である区民と全体の奉仕者たる公務員、しばしば利益追求組織である事業者とが、どのようにしたら街づくりビジョンを共有し、実践において協働できるのか、三者の立場の違いを踏まえた言及が必要だと思います。

		<p>◎</p> <p>荻窪を「都市活性化拠点」、他の中央線駅を「地域生活拠点」、他の鉄道駅を「身近な生活拠点」と格付けする「多芯型」の意味が理解できません。都市活動軸、地域活動軸の表現にも同様の危惧—大型開発をてこにしたまちづくりに通じる危惧を覚えます。「誰もが暮らしやすい街」「誰一人取り残されることのない社会」の実現には、開発主義のまちづくりで壊されてきた、身近なところで生活需要が充たされ、医療や福祉に繋がれる生活圏の回復・充実が決定的に重要です。そこをまちづくりの根底にすえるべきではないでしょうか。</p>
467		<p>今の成熟した街を壊して拡張するほど急ぎの工事だとは思はない。無駄図解である、他の福祉や教育に使うべきである。</p> <p>拡張される地域の家が、5メートル壊されても保障はその分のみ、建て替えも引越しもできない金額ではないか。やめるべきだ。</p> <p>現道路の街路樹も伐採される。みどりの街づくりに若甦する。</p> <p>駅前再開発と絡んでいると聞くが、いまのままで何不住はない。もう大型開発はやめるべきだ。</p>
468		<p>骨子とはいえ、どうにでも取れる表現が多く、開発を見直すといいながら、見直しをなさず</p> <p>とも強行できるような表現が目立つように感じる。</p> <p>各地域とも地域性を生かすとの表現が多いが、具体的に地域のどのような地域性を生かすのかが全く表現されていない。</p> <p>鉄道沿線や幹線道路については、街路樹植樹などを計画的に行う、住宅地についても緑地法</p> <p>に基づく緑化計画などの具体的な数値目標の設定が必要ではないかと考える。また、商業地でも屋上や壁面の緑化をすることでゼロカーボンや温暖化への対抗策にもなるのではないだろうか。</p> <p>各地域の計画道路に関しては、現在明らかに交通量が多く渋滞してしまうような街路を中心として、新たな計画についてはいったん凍結し、交通量や動線を考慮した計画であるのかを検証</p> <p>すべきだと考える。西荻窪の補助132号などは駅前へかえって自動車を誘導してしまう結果となる可能性が高いと考えており、計画戦すべてを同じ幅員とすることよりも、バスの往来ができるように部分的に退避場所のような形で幅員を確保して往来を確保するなどし、一般車両の進入に関しては進入制限するなどし、地域商店街の存続と活性化につなげたほうが良いと考える。</p>

	<p>各地域の商店街については、道路拡幅よりも補助金等を活用し耐火構造・準耐火構造等への 変更を推奨することを考えてほしい。</p> <p>交通整備に関しては、西武新宿線～中央線～丸の内線～井の頭線の各鉄道路線によって区切るのではなく、区内の南北や区内を巡回するような経路が長く直接結ぶようなバス路線の新設などを考慮し、「エイトライナー」の実現に向けた行動を進めてほしい。</p> <p>駅前再開発に関しては鉄道事業者ともジョイントベンチャーして鉄道敷や駅舎への公共施設や駐輪場、駐車場などの付置を条例等で義務付けるなど対策を行ってはいかがだろうか。</p> <p>また、自転車や自動車に関しては公営の駐車場・駐輪場を増設することも視野に入れてほしい。</p> <p>自転車撤去等に費用をかけるよりも恒久的な解決になると考える。</p> <p>計画道路の用地取得などと違い、容易に取得できる個所から取得していき、代替え地とする などの柔軟な活用のできる区有地の確保を進めることで、長期的にその他公共用地の確保につなげられるのではないかと考える。</p> <p>また、公共施設に関しては、用地確保を有効に行うことから複合化し、地域にまんべんなく配置できるようにしてほしい。特に保育・学習関連施設に関しては利用度を高めるためにも各地域に計画的に配置すべきと考える。</p> <p>延焼遮断帯については緑化を中心とした計画として広幅員の道路による地域分断とならないように配慮してほしい。また、水害対策に関しては、道路等への浸透は言うまでもなく、各住宅にも雨水の貯留装置や浸透枳の設置を推進し、地中浸透を促すようにすれば、ヒートアイランド対策にもつながるのではないかと考える。</p> <p>災害対策としては、緊急時の避難が可能な施設がまだ十分ではないと考える。複層階となってもある程度の住民が退避可能で、また、ペットなどの飼育されている方への配慮も行ってほしい。公共住宅などの施設に避難施設を併設させるなど検討いただきたい。</p>
469	<p>133号線の地権者の×です。</p> <p>7月15日の都市計画審議会も傍聴し、新しい区長を迎えて、どのように区制が進められて行くのかを、注視しています。今まで、区政に対して、私たち住民に意見を聞きたいなど、有り得ない事でした。大いなる変化の第1歩を評価します。</p> <p>20年後の杉並区の未来と展望をまとめたと言う骨子案なら、まず目の前に</p>

	<p>迫っている環境問題に今、真摯に取り込まないと、20年後はともかく、杉並区に明るい明日は来ないと思います。今回出された骨子案は、従来通りのお題目だけを並べたものに、さと子区長の、「ゼロカーボンシティ達成と、脱炭素を目指す」を要所要所に差し込んだだけじゃありませんか。実際は、住民の為と言いながら、住民がいない、と叫び続けているのを無視し、道路拡張工事や駅前開発を進めている区のやり方は、時代錯誤、時代に逆行しています。</p> <p>国土交通省は今年4月改正の都市計画運用指針で、長期着手されていない計画道路は、社会情勢を踏まえて見直しを進めよ、関係市町村の意見も十分尊重せよ、と各都道府県に指示しています。ところが東京都は、ほとんど見直しをせず、現在320路線、計226kmの都市計画道路を設備対象とし、事業を進めています。国の方針に沿った正当な要求ですし、又以前は道路周辺の住民の意見など1度も聞いた事なく進められた道路計画ですから、杉並区として、東京都に見直しを求めるべきです。</p> <p>次に、阿佐ヶ谷地区で進められている阿佐ヶ谷駅周辺の、、、事業で応募3社のうち、杉並区の公職(都市計画審議会)の方が落札、受注されている事実があります。馴れ合い、しか考えられません。今年、傍聴しましたが、杉並区の都市計画を決める大事な会議に、利権に絡んだ不正な業者が審議委員など、重大問題です。明確なご回答をください。当事者の名前を知りたいければ、×宛お電話を下さい。</p> <p>大事な税金、馴れ合いの業者との癒着、全く許せません。</p>
470	<p>① 骨子案全体について</p> <p>骨子案の段階から区民の意見を聞くという初めての試みは素晴らしいことだと思います。しかし、募集期間が告知からたった17日間というのは短すぎると感じました。26ページにも渡る骨子案を全部読むのに私は半日かかりました。これを全部読んでアンケートにも答え意見書を書くというのは、仕事や生活に追われている区民がにとって非常にハードルが高いことだと思います。もっと考える時間を与えて欲しいです。</p> <p>そもそも、この先10年の杉並区のまちづくりの方針であるのに、そんなに早急に決める必要があるのでしょうか？まだ今年7月に区長が変わったばかりです。</p> <p>基本姿勢に新たに加わった、岸本聡子区長が掲げる「脱炭素の視点からまちづくりを推進する」という部分には賛同いたします。しかし、「道路整備方針」では都市計画道路ありきで進められており、骨子案全体が矛盾した内容になっていると感じました。脱炭素の視点においては、車優先から人優先の</p>

道路にすべきで、都市計画道路自体を見直すところから始めるべきだと思います。

更に、全体的に耳障りがいいだけの抽象的な表現が多すぎて、いくら読んでどんな街を目指しているのかさっぱり見えてこなかったです。「しゃれた雰囲気の中に落ち着きのある地域生活拠点」と言われても、イメージするのは人それぞれであると思います。人によって捉え方が違うものに対して「そう思う」「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」「そう思わない」というこれまた抽象的な選択肢で答えさせられても、どのような意見として集約されてしまうのか謎です。

まずはこの骨子案を根本から見直すことを検討してください。

② 「道路整備方針」について

道路整備については、そもそも住民から整備してほしいと要望しているわけではなく、70年以上前の計画を強引に進めようとしているとしか思えません。脱炭素の視点からも費用対効果のない道路建設に高額な税金を使うことはやめてください。

全ての路線について抜本的な見直しを検討していただきたいです。

私は現在南阿佐ヶ谷の都市計画道路補助133号線の予定地付近に住んでおりますが、地権者や周辺住民により申し入れ書を区に提出しております。(西荻窪の132号線、高円寺の221号線でも申し入れ書を提出したと聞いてます)

この地域は、杉並区が目指す「みどり豊かな住まいのみやこ」をまさに体現したような善福寺川緑地帯のそばの閑静な住宅街です。

この道路計画が進められると、約100軒もの住宅が立退になり、地域住民の医療を守ってきた診療所もなくなってしまい、杉並区のシンボルツリーであるヒマラヤ杉や、

善福寺川緑地の一部の木も切り倒されてしまうことになります。

多くの人々の生活や今ある緑を破壊して、更に高額な税金を投入して、新たに道路を作る必要がどこにあるのでしょうか。

骨子案には道路を整備する理由として、「避難場所へのアクセス」「地域防災機能の強化」「安全で快適な交通環境」「街路樹によるみどりの軸」が挙げてありますが、

16メートル幅の道路ができることにより、地域のコミュニティは分断さ

	<p>れ、交通量の増大により歩行者は危険に晒されます。阪神大震災では大きな道路に車が乗り捨てられ、避難が困難になったという事例も聞きました。</p> <p>「避難場所へのアクセス」「地域防災機能の強化」「安全で快適な交通環境」どれにも逆行してませんか？</p> <p>また既にある木を切り倒して道路を作って、新たに街路樹を植え「みどり豊かな住まいのみやこ」と言われても、納得できません。</p> <p>③ おわりに</p> <p>「脱炭素の視点からまちづくりを推進する」この基本姿勢を一番の土台にして、道路計画や再開発よりも、人優先、環境優先なまちづくりを目指してほしいです。</p> <p>そのためには今回の骨子案を抜本的に見直して、来年3月の決定も延期することを希望します。</p>
471	<p>×××××住み働いて、3年前にコロナ禍の東京に来て、地上げされハイソな×××××から庶民的な×××、そして×××に杉並区の西荻と職住一体で移ってきました。そんな杉並ニューカマーで、この街の詳しいことはよく知らないのですが、よそ者だったからこそ感じることを率直に意見します。</p> <p>杉並に移った大きな理由は、住民自治や公共性を大事にする区長さんになったから、その区長さんを支えるたくさんの住民がいるからです。</p> <p>私が×××住んでいた×××××もなかなか良い街でしたが、どんどん再開発して、西荻のような個人店で老舗のお店がどんどん潰れて、タワマンが林立して、庶民臭さが薄れて。つらまない街になろうとしています。東京はじめ全国で画一的な開発を続けて街の個性がなくなろうとするなかで、首都圏で利便性がありつつ個性と活気のある街を維持・発展させるには、現区長が選挙でスローガンに掲げた「対話から始まる みんなの杉並」こそ重要だと思います。</p> <p>でも、この骨子案は「まちづくり基本方針」としながら、「まちづくり」の「基本方針」になっていないと思いました（住民無視でえらそうな前区長の時代に作ったものだから、大枠を覆せないのでしょうか）。</p> <p>なぜなら、＜福祉＞＜医療＞＜教育＞＜保育＞といったベーシックニーズを住民と協力しながらどう充実するか、という課題がすっぱり抜け落ちています。</p> <p>また、私は会社経営もしているので、仕事や商売など業をどうするかということもないのもどうかと。</p>

もちろん、「脱炭素」を盛り込んだ点は画期的だと思いますが、それに逆行・矛盾するような「車社会」を「防災」などを口実にして促進する道路拡張案だと思わざるを得ません。

なんか、有名なゲーム「シムシティ」みたいですね。住民との対話で生活のために大事なことを考え合ってボトムアップで積み上げていくものではなく、机上で書き上げたような無味乾燥な感じで、これで本当に杉並区民が実感持ってまちづくりやりたい！てなると考えているのでしょうか？（区役所の皆さんも本音では同感でしょ？）

それも、周知も全然で、短期間で意見を求めて、アリバイ的に住民に意見を求めるなんて。情報公開もちゃんとするんでしょうか？知らないうちに、近所の飲み屋街が壊されてタワマン建設なんてことないですかね？

区長が選挙に政策として掲げたところでいえば、「環境保全と児童・高齢者・障がい者・生活困窮者への福祉を最優先で進めます」「都市農業の発展と継続を支援し、杉並区周辺での地産地消を広げます」「区立施設の統廃合や駅前再開発、大規模道路拡幅計画など、住民の合意が得られないものはいったん停止し、見直す」といったところを、あらためて再考して、骨子案を抜本的にあらためてほしいです。

とくに私個人としては、「高齢者が一人でも生活できる地域の福祉ネットワークを拡充する」という区長の公約に関心があります。自分が老いてまともに働けなくなってもなんとか生きていけるなら、この街を終の棲家になりたいですし。

あまり批判ばかりしても仕方ないので、この「官僚的作文」からも学ぶところはかなりありました。各駅前を中心に「多新型の拠点」に「回遊性」があり「個性的」な「身近な生活拠点」と、「駅舎の位置・形状や周辺状況を踏まえた駅前の広場機能、駅への安全で快適な道路・交通体系の整備を図ります」とあり、これが杉並の良さを生かした提案なんだのかと。

とくに私にとっては新しく学んだ言葉。

<※モビリティ・マネジメント：「環境や健康などに配慮した交通行動を呼びかけていくコミュニケーション施策」を中心として、ひとり一人の住民等に働きかけ、自発的行動の転換を促していき、「過度の自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」への少しずつ変えていく一連の取組>

まあ、カタカナ言葉ってネオリベ的で本質を誤魔化すために使われることがあります。この考えは大賛成です。

	<p>区長の選挙政策でも、「駅前再開発や大規模道路拡幅は、道路を渡りにくくして、まちをバラバラにしてしまいます。クルマの通行量も増えるので、排気ガス問題など環境も悪化します。地域住民や関係者とていねいに話し合い、反対意見が強くある場合は計画を凍結し見直します」としていたように。</p> <p>骨子案でも、「ゼロカーボンシティを目指す」「ユニバーサルデザインの考え方に基づき、年齢や障害の有無、国籍、性別などの違いを超えて、誰もが気軽に利用でき、移動しやすいまちづくりを進めます」とあるのは大賛成。</p> <p>さらに区長の選挙政策で、「路上での営業を妨害する障害物や、気軽に腰掛けることを妨害する障害物を撤去し、まちの景観を改善するとともに、公共空間としての道路や公園を住民本位のものにします」というのもとても重要。</p> <p>より踏み込んで、自転車だけでなく徒歩で生活できる街づくりを重視して、駅前などの繁華街などにはバスやタクシー以外はできるだけ自動車を乗り入れできないようなスペースを広げてほしいです。区長の選挙政策にも「クルマ社会を前提にした開発は抜本的に見直します。クルマ社会から、徒歩、自転車などでの安全な移動で楽しめるまちづくりをめざします」としていたように。</p> <p>そうしたことから鑑みれば、駅前近くの道路拡幅はせず、むしろ、「歩行者天国」のような路上を自由に歩いたり、くつろげる小路にしたらいいなと思います。子どもたちがいろいろたむろして遊んだり、大人は井戸端会議したり。半径500メートルで生活も遊びも自己完結できるような感じで。</p> <p>この前、高円寺の良さを特集したテレビ番組があって、おっちゃんも昼間から酒飲んでいたり、老若男女問わずくつろげる南口駅前広場の良さを紹介したけど、そういった市民の自由でコモンな場を西荻駅前にもあったらいいなと思いますね。それこそ、区長に不満があれば抗議集会も自由にできるようなオープンスペースがあれば。</p> <p>以上、限られた時間と情報から、急いで思いつくまま、あえてくだけた感じで書きました。生活実感からくる言葉で行政の言葉も表現し直して、本質的な生活の良さとは何で何ができるかを考え合うプロセスがないと、まちづくりなんて行政担当者の自己満足とその背後にある利権のためにすぎないでしょうし。</p>
472	<p>(1) 本意見募集について</p> <p>10月1日、「『杉並区まちづくり基本方針（骨子案）』についてご意見を</p>

お寄せください』が区民に告知された。

荻窪に住んで47年になるが、区行政からまちづくりに関し、こうした明示的呼び掛けを意識したのは初めてのことであり、眠らされてきた住民自治が最底値から立ち上がる風を感じ、昂揚する思いで受け止めた。

「まちづくり」、取分け道路拡幅・延伸に関してはこの度の区長選で大きな争点となったもの。また、この間のコロナ禍進行は区民の暮らしと地域経済を揺さぶり続け、生活と生業（なりわい）不透明はさまざま抜本的再検討が求められている情勢に。

お役所仕事も慣性に墮すばかりでは区民大多数から忌避されると判断したのだろう。区長選で投票率、5ポイントアップのインパクトは大きい。田中区政は「まちづくり」に限らず、区民の声や生活上の環境変化について一顧だにせず、公用車を夜も乗り回しての独断専行で区民の怒りを募らせ、区当局はそれに悪慣れしてきた。

この意見聴取の儀は岸本区長の誕生と施政方針がもたらした変化であり、区民の一人として大いに歓迎するところだ。

(2) まちづくりの主役は誰なのか

岸本新区長就任の4日後、7月15日に開かれた都市計画審議会。この中で7月はオープンハウス形式で「まちづくり基本方針」の住民説明が予定されていたことが改めて浮き彫りになった。

都市計画審議メニューの中核となる計画道路“整備”など、民意がどこにあるか、どこ吹く風で進める猪突の論理、民主的自治精神とは無縁の区政進行が止んでいないことが表に表れた。

こうした行政運営はそもそも「区民が主役となるまちづくりと自治の発展」（杉並区21世紀ビジョン）が絵空事に過ぎなかったことを垣間見せ、主役（区民）不在のまま突き進もうとしていた実態を審議会傍聴者に強く印象付けた。

「杉並区21世紀ビジョン」は世紀替わりを1年後に控えた2000年に発出された。ビジョンは冒頭、「みどりの減少や商店街の衰退がすすむとともに、老後の不安や子育てをめぐる不安、教育をめぐる諸問題があるなど、これまでの取り組みが必ずしも実を結んでいるとはいえない状況」を率直に指摘し、課題山積であるが故の策定だとの内省から始まっている。

そもそも「まちづくり基本方針」は区政運営の指針たる「杉並区21世紀ビジョン」（杉並区の憲法とも言える「杉並区民憲章」を含む）との整合なくして区民の納得も協力も得られないものであること云うまでもないが、田中区政の下では真摯な「杉並区21世紀ビジョン」への漸近努力は奪われ漂流船の体となっていた。

そうした区の態度は新自由主義に絡め取られた東京都の上位計画整合圧と干からびた防災論に振り回され、強慾資本側の草刈場化として杉並区をロックオンさせ、区政と区民はいいように利用される経緯にあったと言える。

ビジョン策定の2000年当時、既にそうした弊害は杉並区と区民が痛いほど認識していたのであろう。そこからのリベンジ、脱出として「杉並区21世紀ビジョン」は錬られ、発出された。

しかし、ビジョンの生命力は発揮されることなく意図的立ち枯れ進行と相成ったのが田中区政の12年であったと言える。

岸本区政はそれらをリセットし、区民が主役となるまちづくりと自治の発展を謳う「杉並区21世紀ビジョン」を取り戻すものとして登場したことになる。そもそも「杉並区21世紀ビジョン」が求めていたものと今に至る現況、そして慣性航行で向かおうとしていた先とのズレは率直に検証され、方向再調整の秋（とき）と考える。

（3）「杉並区まちづくり基本方針」に頻出する『個性』

「まちづくり基本方針」には『個性』の二文字がさまざま頻出する。（骨子案中16

箇所）基本姿勢に「地域特性を生かした個性的なまちを創る」が謳われ、以下本文事例を5つ。

- ・それぞれの立地や歴史・文化などの特性を生かしながら、回遊性のある個性的な商業環境を充実していくとともに、多様な都市機能の集積を図り、区民交流の拠点とします。

- ・それぞれ後背住宅地と密着した個性的な近隣商業、身近な生活サービス機能を充実を図ります。

- ・うるおいのあるプロムナードの整備、快適で個性的なまちなみデザインの誘導などにより、区を代表するにぎわいの空間づくりを推進します。

- ・それぞれ後背住宅地と密着した個性的な近隣商業、身近な生活サービス機能を充実を図ります。

- ・荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。

これらは『個性』が郷土愛を育み、区民の心を満たし、総合的な帰属性を強化させるものだとの認識が伺える。「杉並区21世紀ビジョン」においても「時代はいま、大きな転換期にあり、これまでの日本の成長を支えてきた政治、経済、社会や行政の仕組みがいずれも改革を迫られています」との認識が示されている。

その上で「これからは、自治体、地域の力が試され、個性が競われる時代」だと、杉並区にとっても大きな課題であることを位置付け、自治体間競争に晒される中での生残り方法論が暗示されている。

「個性」がまちづくりを方向付ける「まちづくり基本方針」に何度も作文されるのはそうした経過であるが、その「個性」の意味と意義はこの間、どれだけ掘り下げられ、具体の行政施策として可視化されてきたのか…この間の個性を意識しての施策の到達、更には課題を区は区民に判り易く例示すべきではと思うがいかがか。

また、区職、議会は先進事例研究名目で他地域の行政視察もやって来たのだろう。それら見聞は区民とどの程度共有されて来たのか、どう生かされたのか。自他のケース研究と検証ナシに今後の方向付をめぐる議論は困難と思うがどうなのか。

(4) 西荻の道路拡幅は何のため（紙幅の都合で西荻に焦点）

作家の角田光代さんが東京新聞「東京どんぶらこ」（2018.06.30）に以下を書いている。

西荻窪は町としての規模があまり大きくなく、土日には急行電車も停まらず、のんびりとした空気が漂っている。フレンチの店はあるが多くはなく、商店街が充実し、すばらしい飲み屋がたくさんあって、古本屋も多い。暮らしに重要だと私が思うものがこの町にはきちんとそろっている。

町のニュースを住人の多くが共有しているのも、町がこぢんまりしているからだ。あたらしい飲食店ができれば、その評判はすぐに耳に入るし、町で事件が起きれば、その後数日は飲み屋さんでも八百屋さんでもその話で持ちきりだ。酒と輸入食品を扱う北口駅前の「喜久屋」さんがなくなったかなしみは、多くの住人が共有していることだろう。

西荻窪で私が好きな場所は、まず、南口の柳小路。飲み屋さんが密集する、入ったら出てこれないのではないかと思うくらい魅惑的な路地だ。仲通りアーケードのピンクの象は西荻名物で、現在三代目。私の好きだった二代目は佐渡島にいるらしい。いつか会いに行くのが私のささやかな夢である。トトロの木も好きだ。住人の保護したいという署名運動で、伐採を免れたケヤキの巨木だ。（註：2008年に伐採の話が出た際、住民らが署名八千六百筆を届けて存続を訴えた。区は木を残し「坂の上のけやき公園」に整備）

駅のホームで、焼き鳥の匂いを嗅ぎながら屋根の連なる町を見下ろすのも好きだ。電車を降りてこの匂いを嗅ぐと、帰ってきたなと思うことができる。人を好きになるように、場所を好きになることもあるのだと、私はこの

		<p>町に教わった。</p> <p>この一文に「個性」の文字こそ表れないが、西荻が他にない魅力をたたえ、若い起業家たちの関心をも集め、熾烈な都市間・地域間競争をリードしてきた経過があること、論をまたないであろう。</p> <p>駅を降りれば、通り一編のタワマンな街が増えるのとは逆に西荻窪は近現代の都市施策が見落とし、失ってきたコト、モノの集積地、再構成場所として特異な存在感を放って来た。それらは重層し、西荻ブランディングとも言える成功譚を紡いできている。</p> <p>ひるがえり、区はこうした西荻をどう解析し、その魅力と交流人口を増やしてきた「西荻個性」を「21世紀ビジョン」との関係でどう位置付け、評価してきたと云うのか、そうした営為、寡聞にして聞いたことないのである。少なくとも「21世紀ビジョン」が頭に入っているなら、道路拡幅で駅アクセス改善とテンプレート引き写しな「防災」論理だけで押しまくれるものではないと思う。</p> <p>「ザ昭和」な街並み創造を更に意識化さすなど、過去・現在・未来をつなぐ西荻像の模索は今日的でチャレンジングなものとして全国民にすら提起可能なもの。衆智の結集こそ、今必要なフェーズと言えるのでは。（以上）</p>
473		
474		
475		<p>●杉並区は、鉄道駅が多く、多心型の拠点定められ、歩行距離で生活が成り立つといった恵まれた条件があります。しかし都市活性化拠点である荻窪は、昇降客が最も多い駅ですが、地上駅のために南北に分断されています。また公共施設がほとんどないことから、区を中心とはいえないところがあります。</p> <p>阿佐ヶ谷駅と南阿佐ヶ谷駅周辺を一体的な整備を行うことで、公共施設の多くが集積していることから、区を中心として機能させる拠点に位置付ける必要があります。老朽化した公共施設も多くあることから、それらの整備と補助133号線の整備とを関連付けて整備し、区の南部との関連性を強化し、公共施設の利便性を高め、防災上も商業活性化の上でも集中する拠点として、区のありかたについて、強化を図っていくべきと考えます。</p> <p>●杉並区の防災について、10年ぶりに見直された東京都の被害想定を見ると課題が非常に大きいことが解ります。それをどう理解し、対策を行うのが、読めないところが残念です。今回事前復興が位置づけられ、その中で復興体制の構築について、地域復興協議会の準備会などの組織づくりを行うことが書かれていますが、非常時にそれらの地域を区が統括する仕組みも検討されるのでしょうか？非常時に物資や情報が届けられる計画は検討されるの</p>

	<p>でしょうか？地域復興協議会の作り方は、現在の7つの地域わけでは、設立は難しいでしょう。市街地特性を把握した、区域わけの検討も必要です。防災についての全体像が把握できないところが、今回のマスタープランの不十分なところと考えます。</p>
476	<p>1) 「意見票」で求められていた意見</p> <p>1. 基本方針骨子案についてお答えください について、エカクシスについては3「どちらかというと思わない」、その他は2「どちらかというと思う」を選択肢としてチェックしました。 その理由については、不十分だと思うところを、次の2)で各項目について記します。</p> <p>2) 骨子案 項目への意見 以下、主に</p> <p>4 基本姿勢 (1) 誰もが暮らしやすい (4) 協働 5 改定における基本的な考え方 (1) 「人生100年時代」 (2) 誰一人とり残されることのない (7) 誰もが・利便性の高い といった視点から、できれば加えることができれば良いと思うことです。</p> <p>p.4 土地利用・市街地整備方針 3 誰もが暮らしやすい住宅施策・住環境整備の推進 良好な住宅ストックの形成 空家等について実態把握を進めるとともに、総合的な空家等対策 →「総合的な」に含まれるのかもしれませんが、現在、空家を転用して福祉活用することがなかなか実現していません。そこで「地域に貢献する活用を含めた総合的な空家対策」というようにしたらどうでしょうか。世田谷区では「地域貢献型」という概念を出しています。</p> <p>p.8 みどりと水のまちづくり指針 3 まちなみのみどりの保護と充実 公共公益施設の緑化 のところに、ユニバーサルデザインのところでも出てくる「農福連携」の工夫を取り入れ、 →「公共公益施設の緑化とウェルビーイングの向上」 とし、「施設と一体化したみどり環境の創出」として、主にウェルビーイングに直結する福祉施設や医療施設から緑化を進めていく方針が良いのではな</p>

	<p>いでしょうか。</p> <p>p.11 ユニバーサルデザインのまちづくり方針 1 誰もが気軽に利用でき、移動しやすいまちづくりの推進 →細目においても「・・・当事者の参画を基調にして進めます」「・・・当事者の参画をふまえて進めます」と踏み込んだら良いと思いますが。以前から逗子市で要綱で、練馬区、神奈川県では条例で位置づけています。</p> <p>p.15 西荻地域 1 良好な街区基盤を活かした低密度住宅地の保全 →この地域の戸建て住宅での孤立や高齢化に対して、空き家等を活かして「ゆりのある住宅資産を活かして、在宅生活を支えるための福祉転用など公共への貢献を推進する」などはできないでしょうか</p> <p>p.19 阿佐谷地域 3 阿佐ヶ谷駅周辺及び南阿佐ヶ谷駅周辺の・・・ 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり ひとつめの○ 「にぎわい・文化・交流・教育・医療」に最後に「・福祉」を加えられないでしょうか。豊かなみどりとこれらの一体化がウェルビーイングの向上に寄与します。この地域のケヤキ屋敷の緑は、単なる緑ではなく、病院に通う患者や高齢者のためにこそ、1 有益なものなので、その点を強調した方がよいと思います。前述した「みどりとウェルビーイングの一体化」のうってつけの場所です。</p> <p>p.21 高円寺地域 1 総合的な防災まちづくりの推進 →この地域では、福祉施設・介護施設がとくに不足しています。また、公園緑地の確保も強調した方がよいと思います。災害時要配慮者支援のためにも、不足している福祉施設整備を進めることが課題として加えると良いと思います。</p>
477	<p>私は、杉並区が進めようとしている道路拡幅の予定地の成田東1丁目に住んでいる者です。</p> <p>道路の拡幅に反対します。</p> <p>杉並区内の職場に45年間勤務をし、生活と子育てを55年以上している。なんの支障もなく生活しています。</p> <p>成田東1丁目の住宅を購入する時には、杉並区の地図には拡幅や公園等に</p>

	<p>なるなどの印はなかったので安心して二世帯住宅として、人生で一番大きな買い物をしました。</p> <p>なんのための拡幅ですか？誰のための拡幅ですか等の疑問がわいてきます。現に消防車・救急車・大型レントゲン車が通行しています。</p> <p>自然が豊かな和田堀公園を突っ切る道路です。オオタカ・カワセミが巣立つ公園であります。その他の動物（たぬき・野鳥・銀杏・桜や水中の動物）などの宝庫の公園です。今車を持つとする若者が少なくなっている時に、税金をかけて道路拡幅をする時期ではありません。住民に寄り添って、住民の思いの道路政策をしてください。</p>
478	<p>今、「孤立・孤独」が大きな問題です。『ここは私の居場所だ・・・』と思える温かい街がほしいです！</p> <p>是非是非、『求心型街創り』をお願い致します。</p> <p>私の望む街は・・・「放射型街」から「求心型街」です！！</p> <p>「求心型街」は例えば、ドイツの「マルクト広場」です。街の中心に噴水があり、周りを区の出張所やマーケット、カフェテリア、飲食店、教会（神社仏閣などが囲んでいます。）人は自然と集まり、憩い、ふれあい、癒されます。</p> <p>「放射型街」は日本の街です。駅を中心に行っているため、人は集まっても、ふれあうことも、憩う事もなく散っていきます。（鉄道によって日本は街が壊されたと思います）寂しい街創りです。</p>
479	<p>杉並区長岸本聡子様</p> <p>杉並区まちづくり基本方針「骨子案」の中に、私の住んでおります「高井戸地域」の記載がありましたので、私見をお送りさせていただきます。</p> <p>【過去の高井戸地域での用途地域変更の事実経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1993年10月杉並区議会に用途地域変更の請願が出される。1996年5月から下記のように変更されました。 <p>従 来： 第一種住居専用地域（建ぺい率50%、容積率100%、高さ10mまで）</p> <p>変更後： 第一種中高層住居専用地域（建ぺい率60%、容積率150%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途地域変更のきっかけは、朝日新聞（1996年11月24日朝刊都内版）によれば下記の通りです。（朝日新聞記事コピーを同封いたします、ご参照ください。） <p>この地域を所有する地主の多額負債救済のために、「個人の救済目的の恣意的な親途変更があった」との声があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時杉並区議会ではこの用途地域変更は「杉並版住専」だとの批判があっ

	<p>り根拠に欠くものである。</p> <p>防災上最も大切なのは初期消火であり道路ではないことが、実証されています。そのため の自治体の防災活動を進めていくよう支援する。</p> <p>○地球環境、ゼロカーボンの観点からも、既存のものを破壊し、開発 していくという やり方は、時代に逆行。一度決めたら意義がなくなっても、後戻りはしないという体質を改めない限り、我々の税金は、無駄なところに使われていき、</p> <p>この国は良くなれないと思います。国は、計画道路の見直しを指示しており、 他府県では計画を廃止した路線もあるとききます。</p> <p>都も区も立ち止まって、見直しをしていただくようお願いいたします。</p>
482	<p>杉並区まちづくり基本方針につき、区民が道路の整備をしてほしいとお願いしている訳ではありません。現在のままで良い。杉並区のすべての道路について見直しを含めて検討をお願いしたい。</p>
483	<p>計画の日程を強行するのではなく、影響を受ける住民及び周辺住民の声を良く聞いて進めて下さい。</p>
484	<p>○方針はいいが、やり方をどうするかが問題であり、その取り組みへの具体策がわからないので選択できない。</p> <p>○空き家が増え、猫、白びしん、狸などの住いになって不潔。空家の活用（コミュニケーションセンター等として）してほしい</p> <p>○西荻のバス路線で駅から地蔵坂方面までの道幅は狭く、バス、車、自転車、人（学生も多い）通りが多いため危険。電柱を地下化したりして道幅を拡げたりしてほしい。</p> <p>○中央線の土・日・祝日も快速をとめてほしい。なぜとめないのか理由がわからない。</p>
485	<p>道路整備については、住民から整備してほしいという要望があつてのものではない。国から都市計画道路の見直しを各都道府県に指示し多くの都市で計画道路の廃止が進んでいる。</p> <p>杉並区の全ての路線についても抜本的見直しを望む。</p>
486	<p>道路を整備して街路樹を植える。駅前を整備して、まちの玄関にふさわしい風格ある街並みを形成する等、確かに景観はよくなるかもしれませんが。でも景観が良いということと、そこに住んでいる住民にとっての住みやすさとは別ではないでしょうか。</p>
487	
488	<p>SDGs の目標に立って「まちづくり」を考えるなら、幼児から高齢者まで、全ての住民が、安心して暮らせる杉並区を目指すべきと考えます。</p>

	<p>それには、交通量の激しくない閑静な住宅街、徒歩で楽しめる街路や商店街、みどり豊かな公園などが望ましいものです。</p> <p>今回、区の骨子案を見ますと、基本的に開発ありきです。駅周辺を中心に現在以上に高層化を進めたり、車の流入通過を進める計画ばかりです。</p> <p>SDGs に合致した、現在の良好な環境を壊すことなく、改善する計画を立て直すべきと考えます。</p> <p>そもそも意見票の設問が、開発ありきの前提に立っています。選択肢 4 を選ぶと、計画が不十分なので、開発を持って進めるべきと読まれてしまいます。改善を求めます。</p>
489	<p>道路を広げると商店街としてやっていけません。片側だけの商売になります。</p> <p>とてもにぎわっている商店街はどこもみな道路幅が狭いです。あちこちに行けるからです。それで、商店街が成り立ちます。</p> <p>道路を広げると、高齢化社会なのに、高齢の方々が道路を渡るのに、とても不便で危険です。</p> <p>道路を広げる必要はまったくないと思います。</p>
490	<p>みどりと景観まちづくりについて</p> <p>みどりのきょてんを充実させることは大切だが、駅前から続く都市活性化拠点にも緑による潤いが必要。地価の高い地域において、一戸の敷地は狭くなり個人の庭木に頼るには無理があり、このままでは建物だけが連なる殺風景な町になってしまう。</p> <p>売却される小さな角地等は、区が少しずつ買取り、木や花を植えて（住民有志が管理するのもよい）街角みどりになれば防災にも役に立つ。</p> <p>みどりの回廊伝いに目的地に行けるような街であったら、杉並は、散策に来る人も多くなり、個性的な、商店街も活性化して大型スーパーが競い合う、どこにでもあるような街とは別の価値ある街になれるのでは。</p>
491	<p>計画道路について</p> <p>現況、みどりの拠点（公園等）を横断する、都市計画道路は中止、又は、従来型の車優先の道路ではなく、多様な道路（生活住民に必要な関係者だけが通れる道路、自転車と歩行者だけが通れる道路、木々の間を抜ける小径で所々にベンチや休憩するところもあるような道路）等、状況に応じて、多様な道路を作ることが、区が目指す誰もが暮らしやすい街になることだと思う。はやく、便利にを優先した、従来型の道路では、脱炭素と反対方向に進んで温暖化を止められない。</p>
492	<p>1. 従来の施設・再編・整備計画では計画先にありきで地域・利用者の声は殆んど聞き入れられず、進行された。地域住民や利用者、子ども達の意見を聞き、それを計画に反映させる方向に転換してもらいたい。「あんさんぶる</p>

		<p>荻窪」については、ぜひ元の児童館と集会施設に戻してほしいという住民の声が今も根強くある。</p> <p>2. 荻窪駅南北通路を工夫して利便性の高いものにしてもらいたい。今、さびれた感じの北側三角地帯もそれぞれ活性化されるのではないか。</p> <p>3. 西荻 132 号線、阿佐谷 133 号線の整備は中止してもらいたい。住民との話し合いは不十分である。補助 221 号線、126 号線、227 号線についても住民との話し合いをすること。後に禍根を残すことになる。</p> <p>3. 阿佐谷北東地域の再開発に反対です。商業施設の中の小学校なんて想像できません。杉並はそんなに過密なのですか？子ども達は太陽とみどりの中で伸び伸びと育てほしい。</p>
493		<p>魅力とにぎわいのあるまちづくり？例えば再開発のターゲットになっている西荻、高円寺は他に類を見ない個性が魅力となつてすでににぎわっている。なのににぎわいを作ると上から言うのは商店の皆さんに失礼だと思います。個人店のみなさんが自由にやってくれるように手伝うのが行政の役割だと思います。まちの魅力ってシンボルの木を植えたり商業ビルに店をきれいに並べ入れたり、行政が作るものではなくて、自然発生的に時間をかけてできた個性の集まり。それが街の魅力なんじゃないの？132 号線は人も車もゆっくり通って安全だし、この夏救急車が止まっても大丈夫でしたよ。ムダな再開発、すでににぎわっているのににぎわい作り？意味わかりません。再開発、STOP！</p>
494		特になし
495		<p>これからの時代いつ起こるかわからない戦争に備えて国防に力を入れるべき時。或いは国・都は食糧難に備えて力を注ぐべき時。我々を生かされている地球を大事に思い、地球温暖化を防ぐ為に緑を増やし、バスなど大型車両を電動化、小型化し環境問題に取り組むべき時。</p>
496		<p>道路拡張計画を一旦 stop というので岸本さと子さんを区長に選びました。東京ガス跡地にできたスーパーマーケット Life 近辺には歯抜けのように道路計画予定地の札の更地が目につきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路に面しているので明るく危険性がない ・老人のたまり場、学生のたまり場、誰でも利用できる ・土地が大きくないので利用者、ボランティアで充分清掃管理ができること <p>みどり豊かな住まいのみやこそそのものです。コミュニケーションの場になります。</p>
497		<p>「骨子案」ありがたく拝読致しました。今まで私は役所からの文書に興味を持ったことはありません。それは御都合主義の美辞麗句の羅列で心に響くものがないからです。しかし今日は新区長への期待へもあって私にしては随分真面目に拝読致しました。</p>

	<p>全体的に感じますことは、このプランが住民のニーズに沿った、地域の実態に深く考慮されたものであるということです。「多心型の拠点」の一つひとつの具体的なものについては、色々なイメージできませんが、地域の特性が活かされそうで面白いと思いました。「みどりの拠点」は期待致します。ゼロカーボンシティには大賛成です。</p> <p>「土地利用・市街地整備方針」では「駅周辺に立地していない商店街についても魅力ある商店街」が欲しいところです。是非実現して下さい。「エリアマネジメントによるまちの活性化」は従来アライバイ作り視点のものはありましたが、新区長の前で住民本意のものになると思うと心の踊る思いです。</p> <p>「増加傾向にある空家」は景気の変動や後継者が無いなどの背景もあるでしょうが、杉並が住み良い街になれば解消されるでしょう。「車中心から人中心の空間への転換」は高齢者や子どもがいるほどありがたいことが「誰にとっても魅力的で居心地が良く出かけたくくなります」・・・もう少し長生きしてみたくくなります。文章だけでなく実現したいものです。防災についてですが袋小路があって心配しております。</p> <p>ユニバーサルデザインのまちづくりでは特に「公園のトイレのバリアフリー化」大いに歓迎致します。心のバリアフリーの推進については、日常杖を頼りに生きるものとしてありがたいと思いますが、私なりに日頃感じるのは身障者に対して杉並の人々は可成りやさしいと思っています。</p> <p>「移動等円滑化促進地区指定」は「やさしい杉並」のシンボルになるでしょう。</p> <p>景観まちづくり方針「他施策との連携と普及啓発」では、今ある区の物を大切に考える姿勢に感動を覚えます。別の課ですが、福祉や教育、文化等の施策についてもお示しいただければ幸甚です。</p>
498	<p>西荻132号線の拡幅工事には反対します。プラタナスの街路樹守りたいです。杉並区長の区政に応援します。</p>
499	<p>㊦鉄道の立体交差は地下化という事も考える ①外かく環状道路は問題が多すぎ ㊧道路と鉄道の交差化は疑問 ㊨都市計画道路補助132号線整備は住民の声を聞いて ㊩善福寺公園の池の枯消化問題発生している ㊪都市活性化拠点とは何か、共同建替えて住民はどうなのか？ 駅前広場機能性の充実→具体的でなく整備され住民の健康は守られるのか ㊫都市計画道路補助133号線反対の住民の声を聞いて！ 駅北東地区整備は線や公園など考えて！</p> <p>㊬都市計画補助221号線整備は住民の声をもっと反映させて！ ㊭京王線立体交差がよいのか、地下化はどうなのか、問題提起を！</p>
500	<p>「杉並区まちづくり基本方針」について 西荻132の都市計画道路には反対です。西荻のまちなみが壊されます。道</p>

	<p>路には大きな自動車を通るだけに利便性があるのではなく、住民にとっても大切です。幅が広げられれば横断するにも危険。売却されて空地になり、虫くい状態の所にはベンチや樹木を置けば、散歩のオアシスになります。高齢者や足腰が弱っている人にはベンチがなくて困っていますから、ちょうどいい利用法になると思います。岸本区長の骨子案に沿って住民対話を深め、進めてください。</p>
--	--